

第4章 新市建設計画策定小委員会

新市建設計画策定小委員会（以下「小委員会」という）は、平成15年2月17日に設置され、計画策定に関する事務を付託されました。これを受けて、第1回会議を、平成15年3月28日午後3時30分から多度町役場で開催しました。以降7回にわたり新市の将来像や今後取り組むべき施策のあり方についての協議が行われました。

1 小委員会委員

小委員会は、行政側委員が各市町の助役あるいは収入役の3人、議会側委員が各議会議長の3人、学識経験者として、各市町で公募されたそれぞれ2人に大学の研究員1人を加えた計7人、総計13人で構成され、委員長には小西良輝 桑名市助役が、副委員長には、水谷孝芳 多度町収入役と黒田 博 長島町収入役が就任することになりました。

一方、組織体系としては、新市建設計画を策定する新市建設計画策定小委員会のもとに、企画担当課長と財政担当課長で構成する新市建設計画策定部会が素案をとりまとめました。それぞれの分野については、合併協議会の専門部会そして分科会が担当し、新市建設計画策定部会に提出しました。

表4-1 新市建設計画策定小委員会 委員名簿

	氏名	所属・役職名	備考
1市2町の 助役あるいは 収入役	小西良輝	桑名市 助役	委員長
	水谷孝芳	多度町 収入役	副委員長
	黒田博	長島町 収入役	副委員長
1市2町の 議会の議長	伊藤明 吉良勇蔵	桑名市議会 議長	~H15.5.12 H15.5.13~
	伊藤昭男 西田道夫	多度町議会 議長	~H15.5.7 H15.5.8~
	伊藤富雄	長島町議会 議長	
学識経験を 有する者	小林慶太郎	四日市大学地域政策研究所 研究員	
	青木活人	桑名市 公募委員	
	徳永正帆	桑名市 公募委員	
	野呂一美	多度町 公募委員	
	柳瀬肇	多度町 公募委員	
	山田裕一	長島町 公募委員	
	井上恭子	長島町 公募委員	

(順不同・敬称略)

2 小委員会の会議内容

第1回会議日程

多度町役場 2階 201会議室
平成15年3月28日(金曜日)午後3時30分 開議

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 委嘱状の交付及び委員の紹介
4. 議事
 - (1) 報告事項
第1回合併協議会協議事項について
 - (2) 協議事項
委員長及び副委員長の選出について
新市建設計画策定について
5. その他
6. 閉会

《会議結果》

委員長は小西良輝 桑名市助役、副委員長には、水谷孝芳 多度町収入役と黒田 博 長島町収入役が就任しました。

小委員会の役割としては、1市2町が合併した場合のまちづくりに対する住民の意向を踏まえ、新市のまちづくりの理念や方向性、合併の効果などの検討を行い、新市の建設の基本方針に沿ったまちづくりの根幹となるプロジェクトをはじめ、公共施設の統合整備、財政計画などについて、具体的な検討を行うことが確認されました。

さらに、新市建設計画策定の概念として、各団体等の総合計画や地域計画・上位計画を調整し、住民意向調査の結果を反映した上で、任意合併協議会で作成したランドデザインを見直し、新市の将来構想を作成し、この基本構想を基に、新市建設計画を策定することも確認されました。

なお、この小委員会と合併協議会とのかかわりについても、小委員会における検討結果や審議状況については、随時、委員長が合併協議会へ報告を行うこと、小委員会が作成した新市建設計画(案)は協議会へ答申され、決定することも確認されました。

第2回会議日程

長 島 町 役 場 大 会 議 室
平成 15 年 4 月 8 日 (火 曜 日) 午 後 1 時 3 0 分 開 議

- 1 . 開 会
- 2 . 委 員 長 あ い さ つ
- 3 . 会 議 録 署 名 委 員 の 指 名 に つ い て
- 4 . 議 事
 - (1) 報 告 事 項
 - 合併協議会 第2回会議について
 - 各団体の総合計画等の概要について
 - 新市建設計画策定支援業務委託について
 - 事務事業現況実態調査について
 - (2) 協 議 事 項
 - 住民意向調査の考え方について
- 5 . そ の 他
- 6 . 閉 会

《会議結果》

新市建設計画策定については、建設計画策定を円滑に遂行するため、支援業務を委託することが確認され、選定方法としてコンペティション方式、選定業者については、1市2町の総合計画作成に実績のある業者、審査等については幹事会において進めていくことが確認されました。

また、新市建設計画の策定にあたって、合併後の新しいまちづくりに住民の皆さんの意向を反映するために、人口の3%以上を対象として、意向調査を6月から7月頃に実施し、さらに、各種団体及び有識者のヒアリング調査の実施についても確認されました。

第3回会議日程

桑 名 市 消 防 本 部 2 階 研 修 室
平成 15 年 5 月 26 日 (月 曜 日) 午 後 1 時 30 分 開 議

- 1 . 開 会
- 2 . 委 員 長 あ い さ つ
- 3 . 会 議 録 署 名 委 員 の 指 名 に つ い て
- 4 . 議 事
 - (1) 報 告 事 項
 - 新市建設計画策定小委員会 委員の変更について
 - 合併協議会 第3回会議について
 - 新市建設計画策定支援業務に係る委託契約の概要について
 - (2) 協 議 事 項
 - 住民意向調査アンケート内容の素案について
- 5 . そ の 他
- 6 . 閉 会

《会議結果》

新市建設計画策定に際しての業者選定について、各市町及び広域連合で総合計画の策定に実績のある2社によるコンペティションを実施し、9人の選定委員の採点により高い得点を得ました、「社団法人 地域問題研究所」の提案を採用したことの報告がありました。

また、新市建設計画を策定するにあたり、住民の意向を計画づくりに反映させるための意向調査の実施に関して、スケジュール、サンプル数、調査票の内容について協議したところ、意向調査そのものが合併協議の情報提供になる重要な調査であることから、次回の小委員会において、改めて協議することを確認しました。

第4回会議日程

多度町役場 2階 201会議室
平成15年6月10日(火曜日)午後1時30分 開議

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 会議録署名委員の指名について
4. 議事
 - (1) 報告事項
合併協議会 第4回会議について
ランドデザイン(案)「1市2町版」について
 - (2) 協議事項
住民意向調査について
5. その他
6. 閉会

《会議結果》

第3回小委員会に続き、新市建設計画の策定にあたり、住民の意向を計画づくりに反映させるための意向調査の実施に関して、スケジュール、サンプル数、調査票の設問内容について再度協議をしました。

その結果、いくつかの修正箇所について、事務局で修正したのち、6月20日付けで発送し、7月7日を期限として回収することで承認されました。



第5回会議日程

長 島 町 役 場 大 会 議 室
平成 15 年 7 月 14 日 (月 曜 日) 午 後 1 時 3 0 分 開 議

- 1 . 開 会
- 2 . 委 員 長 あ い さ つ
- 3 . 会 議 録 署 名 委 員 の 指 名 に つ い て
- 4 . 議 題
 - (1) 報 告 事 項
 - 合併協議会 第5回会議について
 - 今後のスケジュールについて
 - 職員アンケート調査について
 - (2) 協 議 事 項
 - 各種団体ヒアリング調査実施要領(案)について
 - タウンウォッチング実施要領(案)について
- 5 . そ の 他
- 6 . 閉 会

《会議結果》

新市建設計画の策定にあたり、職員の知識やアイデアを新市の将来構想に活かすとともに、合併とそれに伴う建設計画策定の気運を醸成する目的として、職員アンケート調査を実施することについての報告がありました。

また、各種団体等のまちづくりに対する期待や考え方を把握するため、各団体の代表を集めてグループインタビュー形式によるヒアリング調査を実施することについての協議をしました。

その結果、1市2町からそれぞれ推薦されたヒアリングの対象者にばらつきがあるとの意見が出たため、再度ヒアリングの対象者を見直し、修正することで承認されました。

最後に、1市2町における公共施設の現状と現在進行中及び計画中的重要事業、地域資源を把握するとともに、新市建設計画策定の参考にするためのタウンウォッチングの実施について協議をしました。委員の中から、1市2町を回る良い機会であるので、十分に時間をかけて、現状とこれから実施される予定の事業を見たいとの意見が出たため、当初半日の予定を1日に変更することで承認されました。

第6回会議日程（タウンウォッチング）

（1）目的

新市建設小委員会においてタウンウォッチングを実施することにより、1市2町における公共施設の現状並びに現在進行中又は、計画中の重要事業、地域資源を把握するとともに、新市建設計画作成のための参考資料とする。

（2）実施日

平成15年8月11日（月）

（3）集合場所

桑名市役所南玄関前（解散場所同じ）

（4）集合時間

午前9時50分（出発午前10時）

（5）視察施設

桑名市図書館等複合公共施設整備事業
桑名都市計画道路8・5・3桑名城外堀線
桑名駅周辺地区整備事業
桑名ビジネスリサーチパーク及び桑名市総合運動公園事業
多度町総合運動公園
多度第2工業団地
多度大社とその周辺事業
小山土地区画整理事業
国営木曾三川カルチャービレッジ
水辺の楽校
千倉排水機場
長島駅前
人にやさしい生きがいのある町づくり

（6）視察参加者

小委員会委員12人と企画担当課長3人、各合併推進室長3人、コンサルタント1人、合併協議会事務局6人の計25人

《視察結果》

当日、朝9時50分に桑名市役所南玄関前に集合し、桑名市図書館等複合公共施設整備事業から始めて、午前中に桑名市4カ所、多度町2カ所、午後に多度町2カ所、長島町5カ所の公共施設や現在進行中あるいは計画中の事業等について視察を実施しました。

その結果、1市2町の区域は一つであること、公共施設の配置状況や整備状況、また、現在進行中の事業や計画されている事業について、その必要性や今後1市2町が広域的な視野に立って検討すべきことについて意見交換がなされ、新しく着手する予定の事業をはじめ、今ある資源や問題点を再認識し、この地域の構想づくりに新たな視点を養うことができました。

第7回会議日程

多度町役場 2階 201会議室
平成15年10月6日(月曜日)午後4時 開議

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 会議録署名委員の指名について
4. 議事
 - (1) 報告事項
 - 合併協議会 第7回会議について
 - 住民意向調査の結果報告について
 - 各種団体及び有識者ヒアリング調査の結果報告について
 - 職員アンケート調査の結果報告について
 - (2) 協議事項
 - 新市建設計画基本構想(案)について
 - 新市建設計画基本計画(案)について
5. その他
6. 閉会

《会議結果》

最初に住民意向調査、各種団体及び有識者ヒアリング調査、職員アンケート調査の結果についての報告を受けたのち、新市建設計画基本構想(案)と基本計画(案)について協議しました。

その結果、今まで行ってきた意向調査の結果が計画のどの部分に反映されているのが明確にすること、また、敢えて住民意向調査の対象者を18歳に引き下げたのだから、若者の意見をもっと反映した新市建設計画にして欲しいなどの意見が出ました。

出された意見については、事務局で十分検討し、修正したのちに再度小委員会で協議することで承認されました。

第8回会議日程

長島町役場 大会議室
平成15年10月21日(火曜日)午後1時30分 開議

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 会議録署名委員の指名について
4. 議事
 - (1) 報告事項
 - 合併協議会 第8回会議について
 - (2) 協議事項
 - 新市建設計画(案)について
 - 新市建設計画概要版(案)について
5. その他
6. 閉会

《会議結果》

第7回会議で各委員から出された意見をもとに、修正した新市建設計画（案）について協議をしました。その結果、RDFの問題、ごみ行政についての記述がない等の意見が出されました。

次に11月16日から30日までの間に実施される住民説明会に使用するため作成した新市建設計画の概要版（案）について協議をしました。その結果、1市2町の課題になっているような内容については、削らずに記述してもらいたいとの要望や意見があり、事務局で検討し、修正したのちに、合併協議会に報告することで承認されました。

今後の住民説明会、県との事前協議で出された意見については、委員長一任で事務局で修正することも承認されました。

3 三重県との協議・回答

新市建設計画の策定に当たっては、県知事との協議が必要となりますので、その協議を円滑にするために、事前協議を行いました。その結果、平成16年2月3日付けで、三重県知事より「新市建設計画（案）」について、異議がないとの回答がありました。

北 企 第 4 4 3 号

平成16年 2月 3日

桑名市・多度町・長島町合併協議会

会 長 水 谷 元 様

三重県知事 野 呂 昭 彦

桑名市、多度町及び長島町の合併に関する新市建設計画（案）にかかる
協議について（回答）

平成16年1月8日付、桑合協第47号で協議のあった「新市建設計画（案）」については、検討の結果、異議ありません。

(1) 調査の目的

住民意向調査は、桑名市・多度町・長島町にお住まいの皆さんの行政に対する要望や合併への期待・不安に思うこと等を把握することによって、合併した場合の新しいまちの進むべき方向を考え、「新市建設計画」を策定していく際の基礎資料とすることを目的に実施したものです。

(2) 調査対象・方法

調査対象者は、桑名市・多度町・長島町に居住する18歳以上（平成15年5月1日現在）の方から約3%にあたる4,134人を無作為抽出しました。

(3) 調査実施期間

平成15年6月20日から7月7日までの18日間

(4) 回収状況

配布数4,134票のうち、宛名不明などによる返送が22票あり、有効配布数は4,112票でした。また、回収数は2,212票で、そのうち白紙回答などの無効票79票を除く有効回収数は2,133票で、有効回収率は51.87%でした。

表 4-2 市町別回収結果

市町名	配布数	回収数	回収率
桑名市	3,320	1,643	49.49
多度町	321	196	61.06
長島町	471	234	49.68
不明		60	
合計	4,112	2,133	51.87

宛先不明分（桑名市：19、多度町：1、長島町：2）は配布数から除いています。

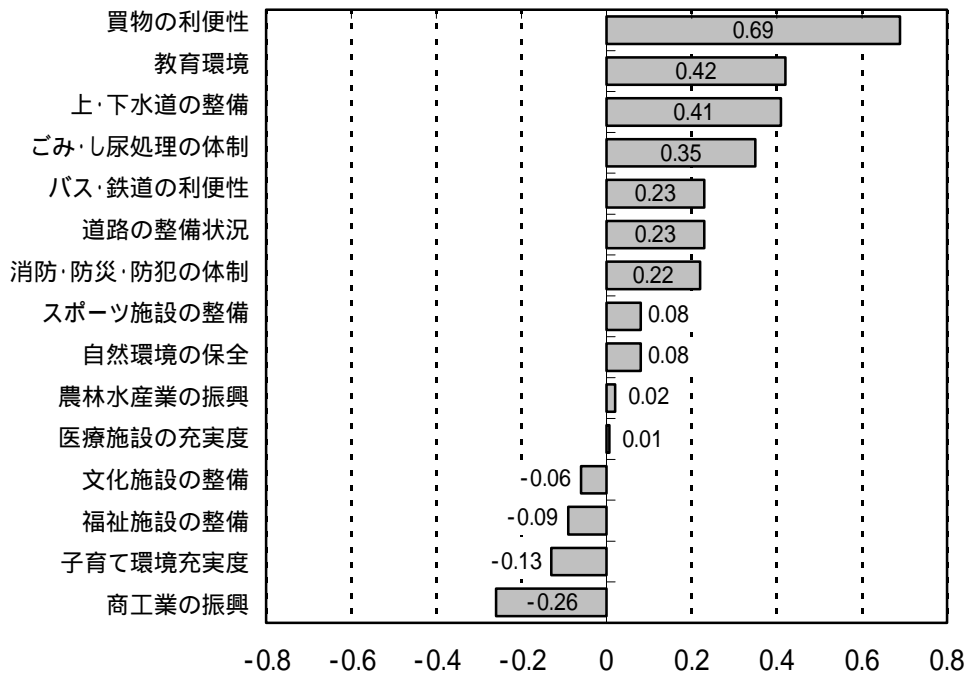
(4) 調査結果（分析）

生活環境評価

15項目の満足度は11項目でプラスの評価となっており、全体を単純平均すると0.15点となっています。その中で特に満足度の高いのは「買物の利便性」、次いで、主に「教育環境」、「上・下水道の整備」、「ごみ・し尿処理の体制」などがあげられています。

一方、満足度がマイナスとなっているのは4項目で、なかでも最も満足度が低いのは「商工業の振興」、その他に「子育て環境充実度」、「福祉施設の整備」、「文化施設の整備」なども満足度が低くなっています。

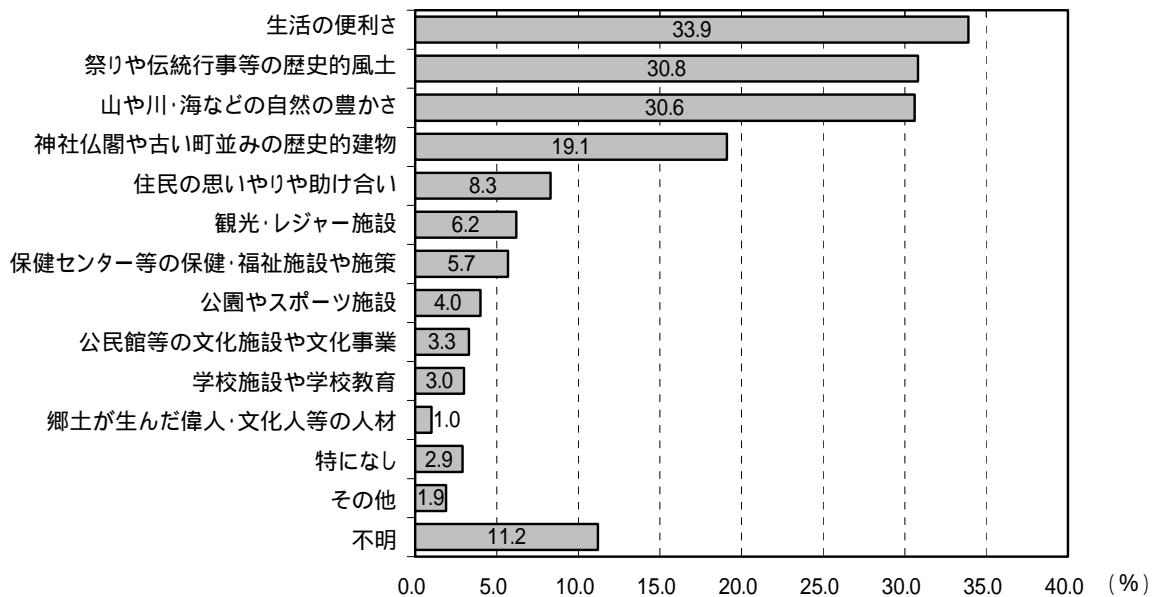
図 4-1 生活環境評価



まちの自慢

まちの自慢できるものについて、最も回答の多かったのは「生活の便利さ」となっており、利便性の高い生活環境に対して、住民の評価が高いことがわかります。その他には、「祭りや伝統行事等の歴史的風土」や「山や川・海などの自然の豊かさ」、「神社仏閣や古い町並みの歴史的建物」などの歴史・文化・自然資源に関する項目や、「住民の思いやりや助け合い」などの項目も高くなっています。

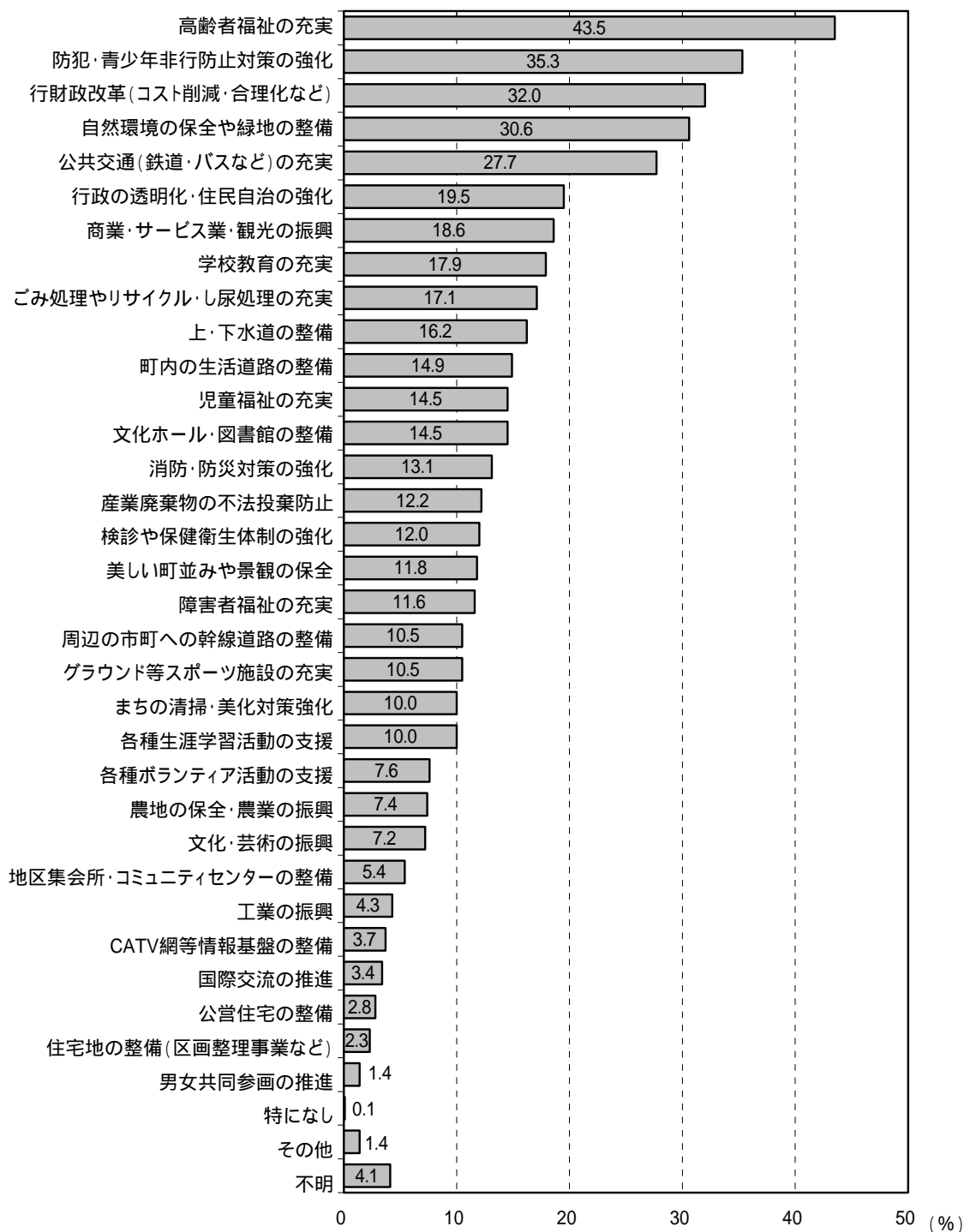
図 4-2 まちの自慢できるもの



合併後の重点施策

新市のまちづくりで、住民が力をいれて欲しい重点施策としては、「高齢者福祉の充実」となっています。その他、主に「防犯・青少年非行防止対策の強化」、「行財政改革（コスト削減、合理化など）」、「自然環境の保全や緑地の整備」、「公共交通（鉄道・バスなど）の充実」、「行政の透明化、住民自治の強化」、「商業・サービス業・観光の振興」などがあげられています。

図 4-3 合併後の重点施策



5 新市建設計画策定に関する各種団体及び有識者ヒアリング調査

(1) 調査の目的

各種団体等のまちづくりに対する要望や考え方を把握し、「新市建設計画」を策定していく際の基礎資料とすることを目的に各種団体及び有識者のヒアリング調査を実施しました。

(2) 調査の方法

各種団体ヒアリング調査

なるべく多数の団体の意見や要望を把握し、また参加者相互の意見交換を通じて新市のまちづくりのアイデアや地域としての方向性を引き出すために、各グループ代表を一堂に会してグループインタビュー形式によるヒアリング調査を行いました（各市町別に合計4回、計30団体）。

有識者ヒアリング調査

地域振興に大きな役割を担っている各種団体の代表者等に対して、今後の組織の方向性や新市のまちづくりに対する意見や提案を把握するために、個別訪問によってヒアリング調査を行いました（合計7団体）。

(3) 調査内容

活動状況や今後の意向など
 合併にともない組織として懸念される事項
 地域住民としての合併に対する不安
 主な地域資源



(4) ヒアリング調査対象団体等

各種団体ヒアリング調査（計30団体）

市 町	調査日	調査対象団体
桑名市	平成15年8月7日	老人クラブ連合会、婦人会連絡協議会、自治会連合会、PTA連合会、体育協会（書面）、スポーツ少年団、連合三重、障害者団体連絡協議会、観光協会、（社）桑名青年会議所（計10団体）
多度町	平成15年8月13日、19日	老人クラブ連合会、婦人会連絡協議会、NPO法人多度自然育成の会、PTA連絡協議会、区長会、身体障害者の会、観光協会、スポーツ少年団、体育協会、勤労者会（計10団体）
長島町	平成15年7月31日	老人クラブ連合会、婦人会、自治会長会、PTA連絡協議会、体育協会（書面）、スポーツ少年団、勤労者会、身体障害者福祉協議会、観光協会、ザ・Swigo塾（計10団体）

有識者ヒアリング調査（計7団体）

桑名商工会議所、多度町商工会、長島町商工会
 桑名農業協同組合、三重長島農業協同組合
 七取土地改良区、長島町土地改良区

(5) 調査結果

活動状況や今後の意向など

- ・多くの団体が小学校区を基本単位として地域に根ざした活動を行っている。
- ・多度町や長島町は住民同士のつながりが強く、会の組織率も高くなっている。また、行政と密接に連携しながら活動が展開されている。
- ・観光等の面では、新市になることにより、各市町が持っていた観光資源をつなぎ合わせて広域での集客力を高めるといった相乗効果も期待されている。

合併にともない組織として懸念される事項

- ・今後の組織の自主性・独自性の確保、組織自体の存続（大きな組織に吸収されるかたちになり、現在の独自の活動が継続できるか）が懸念される。
- ・合併の進捗状況や今後の進め方など、情報が十分に広がっていないため、関連する団体との合流・協力の進め方に困惑している。
- ・新市としての団体の位置づけや補助金の継続など、これまでのように組織の活動に対する支援が得られるか不安である。

地域住民としての合併に対する不安

- ・これまで培ってきた独自の地域性を守っていけるかどうか心配である。
- ・特に他市町で行っていない独自の事業も含めて、住民に対するサービスや予算が低下しないか心配である。

主な地域資源

- ・六華苑を中心とした趣あるまちなみや輪中の風景、多度大社などの豊かな史跡や景観、石取祭や上げ馬神事などの地域固有の特色ある祭事・神事などの伝統文化などは、他に誇れる当地域の資源である。
- ・緑豊かな山々と清流に囲まれた豊かな自然環境とともに、そうした自然の豊かさと生活の利便性を併せ持った居住環境も、当地域の資源である。
- ・多度町や長島町では、地域住民同士のつながりが依然として強く残っていること、そして住民が協力してこれまで実践してきた地域活動やイベントなども、大切な地域の資源であり、今後も大切に残していくべきである。

6 職員アンケート調査

(1) 調査の目的

日常的な業務の中で地域の現状、新たな課題や施策に取組み、豊かな知識やアイデアをもつ行政職員の意見を新市の将来構想に活かすとともに、合併とそれに伴う新市建設の気運を醸成するために、全職員に対するアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象・方法

調査対象は全職員として、アンケート用紙は、合併推進室を通じて実施しました。なお、アンケート調査は記述式を基本として、以下の内容としました。

新市の地域資源で、よその人に自慢できるものは何か。

新市で将来的に改善すべき課題は何か。

新市を発展させるために、何（資源）を利用して何（政策提言）を行えばよいか。

合併についての意見

(3) 調査実施期間 平成 15 年 7 月中旬から 8 月上旬

(4) 回収状況

表 4-3 市町別回収状況

市 町	配布数	回収数	回収率
桑名市	1,278	1,040	81.38
多度町	100	94	94.00
長島町	140	132	94.29
計	1,518	1,266	83.40

(5) 調査結果

新市の地域資源で、よその人に自慢できるものは何か。

1 市 2 町における地域の個性・特色を把握すると同時に、新たな視点の発見や今後の地域づくりの資源を掘り起こすことを目的に、職員が誇れるものを「文化・伝統」「史跡・景観」「その他」でそれぞれ答えてもらいました。その結果全国的に有名な行事から、職員ならではの住民生活に密着した資源まで多岐にわたって挙げられました。

表 4-4 主な地域資源

主要な資源	桑名市	多度町	長島町
文化・伝統	石取祭、伊勢大神楽 金魚まつり、御台所祭	多度まつり、流鏝馬まつり	石取祭、輪中での生活文化
史跡・景観	七里の渡し、九華公園 六華苑、木曾三川	多度大社、多度山、多度峡	水郷、輪中の風景、木曾三川 と輪中堤、大智院
その他	水郷花火大会、時雨、鋳物産 業	多度天然プール、みかん、柿、 RDF 関連施設	豊かな観光資源（温泉、遊園 地、アウトレットモール、又 木茶屋）

新市で将来的に改善すべき課題は何か。

現在、各職員が担当する業務に関連した課題から、主な意見を施策分野別に整理しました。

1. 安全で潤いのある地域づくり
2. 健康で安心して暮らせる地域づくり
3. 快適で住みよい地域づくり
4. 豊かで活力ある産業づくり
5. 個性と創造性に富んだ地域づくり
6. ふれあいと参加の地域づくり

新市を発展させるために、何（資源）を利用して何（政策提言）を行えばよいか。

1市2町が合併した場合、行政として力を入れていくべき施策について、それぞれ5つずつ選択をさせたのが下の表4-5です。

全体の結果から、この地域における3つの特徴を見ることができます。

居住環境のソフト面に關わる施策

- 「高齢者福祉の充実」(38.3%)
- 「消防・防災対策の強化」(28.7%)
- 「防犯・青少年非行防止対策の強化」(24.0%)

環境問題に關する施策

- 「自然環境の保全や緑地の整備」(35.2%)
- 「ごみ処理やリサイクル、し尿処理の充実」(24.1%)

子育て・教育に關する施策

- 「児童福祉の充実」(26.0%)
- 「学校教育の充実」(24.6%)
- その他「商業、サービス業、観光の振興」(28.0%)が高くなっている。

市町別で比較してみると、それぞれ以下の項目の回答率が高くなっています。

桑名市

- 「高齢者福祉の充実」(37.3%)
- 「自然環境の保全や緑地の整備」(34.8%)
- 「消防・防災対策の強化」(30.1%)

多度町

- 「自然環境の保全や緑地の整備」(40.6%)
- 「商業、サービス業、観光の振興」(36.6%)
- 「学校教育の充実」(29.7%)

長島町

- 「高齢者福祉の充実」(38.3%)
- 「自然環境の保全や緑地の整備」(35.2%)
- 「児童福祉の充実」(33.6%)

表4-5 全体の結果

施策	回答率(%)
高齢者福祉の充実	38.3
自然環境の保全や緑地の整備	35.2
消防・防災対策の強化	28.7
商業、サービス業、観光の振興	28.0
児童福祉の充実	26.0
学校教育の充実	24.6
ごみ処理やリサイクル、し尿処理の充実	24.1
防犯・青少年非行防止対策の強化	24.0
美しい町並みや景観の保全	20.8
行政改革(コスト削減、合理化等)	20.6
公共交通(鉄道・バス等)の充実	19.7
上・下水道の整備	19.4
行政の透明化、住民自治の強化	17.0
障害者福祉の充実	16.8
周辺の市町への幹線道路への整備	12.6
産業廃棄物の不法投棄防止	12.5
町内の生活道路の整備	12.1
まちの清掃・美化対策強化	12.0
文化ホール・図書館の整備	9.9
工業の振興	9.6
文化・芸術の振興	9.6
各種ボランティア活動の支援	8.4
各種生涯学習活動の支援	8.0
グラウンド等スポーツ施設の充実	8.0
検診や保健衛生体制の強化	7.0
その他	6.6
農地の保全・農業の振興	5.7
CATV網等情報基盤の整備	5.3
国際交流の推進	4.7
男女共同参画の推進	3.5
住宅の整備(区画整理事業など)	3.0
地域集会所・コミュニケーションセンターの整備	2.6
公営住宅の整備	1.1
不明	0.3

合併についての意見

新市建設計画策定に際し、日頃から行政運営に携わる職員からのアイデアを収集するため、まちづくり政策提案を活用する資源と共に調査しました。すると、様々な資源を活用したアイデアが多数寄せられました。

主なアイデア

- ・まちおこしの一環として桑名城を再建し、観光客を呼ぶ。
- ・旧東海道の宿場町としての歴史文化資源を活用し、観光客の誘致をめざす。
- ・伊勢のおかげ横丁のように江戸時代をテーマにしたまちづくり。
- ・川を利用したヨットハーバー、競艇場、マリンスポーツなどの展開。
- ・はまぐり特区として人工干潟等水際の自然を考える政策 ラムサール条約登録。
- ・東玄関口である水郷輪中を農業中心とした観光レクリエーションゾーンとして展開していく。
- ・多度山を基点に、自然遊歩道と山登り及びキャンプ地、ハイキングコースの整備。
- ・荒れ放題の「竹林」や「低い山」を整備することで「風景」「歩く道」「竹に関連する商品」を提供することが出来る。
- ・夜も木曽三川や町にあふれる光で夜景がとても美しく見える所なので、若い人も多く訪れるようなPRをすると良い。
- ・新市の観光産業の拠点として、更なる集客力の向上に努める。
- ・市民がくつろげる温泉を兼ね備えた施設の整備。
- ・遊覧船でネットワーク化し、観光資源とする。
- ・新市内の観光拠点をつなぎ、広域観光につなげる。
- ・工業団地を開発し、先端技術の企業を誘致する。
- ・リサーチパークは住都公団との関連もあるが積極的な企業誘致の推進、地元経済活性化と雇用の創出。
- ・パーク・アンド・ライド方式の整備。
- ・「環境」をPRするネットワーク化を図り見学コースとして各自治体に積極的に売り込む。
- ・RDFに関連して電力を起こす時点発生する温水を利用しての高齢者向け施設や温水プールの整備。
- ・高塚山古墳周辺を調査し、古墳を中心とした緑地帯を保持。遺跡公園にする。
- ・小規模（30名程度まで）サークルが自由に使える文化、スポーツ施設の整備。
- ・歴史と祭りを利用した景観と体感施設を設け、観光のまちをめざす。
- ・シティマラソンのコースを新市全域に拡大し、フルマラソンレースもしくは駅伝などにレースの規模を拡大する。
- ・パルビルの再開発による都市機能の強化。
- ・新市の庁舎の新築、市民病院の移転。
- ・大学等教育機関の誘致。
- ・観光農園、貸し農園の整備及び農産物卸売り場の設置。近くで果物狩りができることをアピール。
- ・農家から農地を借り上げ、市民農園として整備し、市内外の非農家に貸し出し農地の有効利用を図る。
- ・休耕田を利用し、学校給食で使用する野菜などを年間計画の下で栽培する。
- ・老人家庭の給食サービス（子供と一緒に食事を楽しむ）、宅配サービス。
- ・高齢者生きがい対策（働く場所の提供）、地域高齢者の自立と意識改革を進める。
- ・新市をアピールする為、史跡などを巡る講座を開催し、新観光マップなどを作成するときのポイント候補を推薦してもらおう。
- ・住民の中でリーダーを決め、会議などにより意見交換を交わす。行政は住民からの提案に対して、費用面の支援と法令、条例等に関することや県、国へのパイプ役を担う。
- ・災害ボランティアネットワークの結成。
- ・情報公開等住民参加の推進。官民共同による組織づくりとIT化、電子自治化。

(1) 計画の趣旨

本計画は、「市町村の合併の特例に関する法律」第5条に基づく計画として作成するもので、桑名市、多度町、長島町の合併後の新市の建設を、総合的かつ効果的に推進していくための基本方針を定めるとともに、この方針に基づいた主要事業を策定してその実現を図ることにより、新市の速やかな一体化を促進し、新市の均衡ある発展と住民福祉の向上を図ります。

なお、新市の進むべき具体的な方向については、地方自治法第2条第4項に基づき、新市において策定する総合計画（基本構想、基本計画）などに委ねていきます。

(2) 新市建設計画の基本方針

まちづくりの基本理念

「水と緑と歴史が育む快適交流文化都市～住み良さ日本一をめざして～」

21世紀の国際社会の中で、新市が自立して豊かに発展していくためには、このような地域の個性を大切に守り育て次世代に継承するとともに、さらに当地域のこれまでの歴史・文化の積み重ねのうえに新たな生活文化や活力ある産業を育み、交流と連携の盛んなまちづくりを進めることが重要です。

合併後の新市においても、これまで以上に市民一人ひとりがいきいきと安心して暮らせる住み良いまちづくりを進めることが重要です。そのためには、潤いのある自然環境との共生を図るとともに、基盤の整備や医療・福祉サービスの充実、防災対策の強化など日常生活を支えるサービスの向上に努め、「住み良さ日本一」と評価されるような質の高いまちづくりをめざしていきます。

計画の構成

本計画は、新市を建設していくための基本方針と、それを実現するための主要事業、公共的施設の統合整備及び財政計画を中心に構成します。

序章	計画策定の背景
第1章	新市の概況と課題
第2章	主要指標の見通し
第3章	新市建設計画の基本方針
第4章	新市の施策
第5章	新市における三重県事業の推進
第6章	公共的施設の統合
第7章	財政計画
第8章	新市建設計画の推進について



新市の施策の構成

新市のまちづくりの将来像である「水と緑と歴史が育む豊かな快適交流文化都市～住み良さ日本一をめざして～」を実現していくために、新市のまちづくりの基本方針に沿って、以下に示すような施策の柱を立て、総合的かつ一体的な施策の展開を図ります。

【まちづくりの基本方針】

【施策の柱】

1. 豊かな自然と共生するまちづくり	(1) 自然環境の保全・活用 (2) 環境に配慮したまちづくりの推進
2. 健康で思いやりのあるまちづくり	(1) 健康づくりの推進 (2) 医療・救急体制の充実 (3) 高齢者福祉の充実 (4) 障害者福祉の充実 (5) 子育て支援 (6) 地域福祉の推進
3. こころ豊かな文化の薫るまちづくり	(1) 学校教育の充実 (2) 生涯学習の推進 (3) 文化・芸術の振興
4. 賑わいと活力のあるまちづくり	(1) 農林水産業の振興 (2) 商業の振興 (3) 工業の振興 (4) 観光の振興
5. 生活基盤が充実したまちづくり	(1) 市街地整備 (2) 道路ネットワークの整備 (3) 公共交通の充実 (4) 情報ネットワークの整備 (5) 上・下水道の整備 (6) 水辺の整備
6. 安全・快適に暮らせるまちづくり	(1) 住宅整備 (2) 景観整備 (3) ユニバーサルデザインの推進 (4) 公園・緑地の整備、緑化の推進 (5) 交通安全対策・防犯対策の充実 (6) 消防・防災対策の強化
7. みんなでつくるまちづくり	(1) 人権尊重 (2) 男女共同参画社会の推進 (3) 市民交流・国際協力の強化 (4) 市民との協働によるまちづくりの推進